

4月から共同で指定管理を受任

新たな課題に直面する1年に

私たち市民の会は4月から、公益財団法人・鎌倉市公園協会と連携する共同事業体「鎌倉広町パートナーズ」として、鎌倉広町緑地の指定管理者を務めます。それに合わせ、新春を迎えたことし1年は、新たな課題に直面することになりました。

市民の会は一昨年秋、単独で指定管理者に応募し、公園管理に関する実績の乏しさ、財政基盤の薄さなどを指摘され、選定されませんでした。そこで昨秋は、239の市立公園を指定管理している市公園協会と連携することで、弱点を補完すると評価されました。

緑地の維持・管理は主に市公園協会が担当する見通しです。市民の会はこれまでどおり市民ボランティア活動を中心に担うことになるでしょう。ただし、共同の指定管理団体として、「都市公園の適切な管理」にかかわる責任の分担を避けるわけにはいきません。

急がれる世代交代

市民の会は広町が住民に親しまれる緑地になることをめざし、田んぼや畑の復元、ヤマザクラ樹林の活性化、散策路の整備などに汗を流してきました。その過程で、カエル、トンボ、チョウや多種の野草が増え、緑地の自然をより豊かにしました。

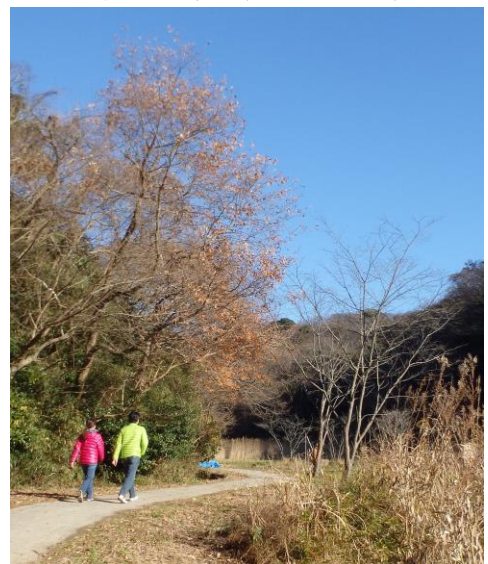
並行して、小学生を主な対象に「かまくら緑の探偵団」の運営を引き受け、子どもたちが自然に触れる機会を提供することも心がけてきました。

それらの努力が実り、指定管理者選定に伴う審査では、「利用者サービスの向上」「利用促進の方策」「環境保護への取組」といった項目で高い評価を得ました。半面、経営状態や財務体質には厳しい指摘がありました。

市民の会が発足して13年になります。会費を負担して活動を支える会員の高齢化は避けられません。同時に、田畑や尾根で汗を流すボランティア仲間の第一世代は、70歳代後半になりつつあります。活動の永続性のために、あらゆる意味で世代交代が急がれます。

若い世代の参加を促すための課題として、まず活動を解かりやすく紹介することが必要です。会の運営、とくに毎月に関わる理事会の協議内容にも、若い市民の感覚に適合した平明さが必要になっています。

春のような広町のお正月



晴天と3月なみの暖かさに恵まれ、緑地には元日も散歩するカップルや家族連れが絶えなかった＝御所谷で。

参加者数が3年連続で最多を更新

収穫祭は市民の会のショーウィンドウ

私たち認定 NPO 法人・鎌倉広町の森市民の会が昨年11月21日、5つの会と共催した第10回・鎌倉広町緑地収穫祭には、スタッフ105人をふくめ670人が参加。3年連続で参加数の最多を更新しました。



収穫祭の参加数

(06~15年)

第1回	226人
2	474
3	508
4	422
5	519
6	132
7	480
8	536
9	557
10	670

小学生も

スタッフ

小学生らがスタッフに加わるのが、4年前から始まっていますが、昨

年は低学年まで、おにぎり班のトッピングや売り子を務めました。

市民の会は「市民に親しまれる緑地に」「子どもたちが自然との触れ合いを深める場に」と願って、ボランティア活動を続けていますが、収穫祭がその成果を象徴するショーウィンドウの役割を發揮しています。

その当日、会場の小竹ヶ谷の紅葉が秋の日射しに映えていました。おにぎり522食、お餅530食、サトイモをたっぷり入れた芋煮は444食、石焼き芋270食が、調理実費100円ですべて完売でした。

新しい稲藁を使う正月飾り、藁と竹材を組み合わせるミニ門松、杉材の輪切りを加工するコースターの3手作り教室にも、それぞれ人の輪ができました。



★★★

○◆○

★★★

○◆○

★★★

市民の会が運営する各グループの活動一覧

田んぼの会	第1日曜と第2、3、4、5土曜の9時～正午
畑の会	毎週日曜の9時～正午
森の会	第1、3日曜の9時半～正午
自然観察の会	第3日曜の1時半～
散策路の会	第2日曜の9時～、第4日曜の1時半～
森のパトロール	毎週月、木曜の9時半～11時半
広町から学ぶ会	第2、4木曜の9時半～11時半
かまくら緑の探偵団	第3日曜を中心に9時半～11時半

広町とわたし

参加の子らが物おじしなくなった

かまくら緑の探偵団



探偵団の18人が参加した昨年12月13日のクリスマスリース作りに、小2の杉田風さんは1時間近く遅刻した。小雨が降っていたが、緑地管理事務所の学習室を借り、予定通り始まっていた。

風さんは残りの活動時間で、広町森の会が集めておいたツルやスギの小枝、アオキの赤い実などを使い、大きな輪飾りを仕上げた。

「モールなんかを飾りつけていくと、だんだんかわいくなった」

風さんは3週間ほど前の収穫祭では、芦沢愛海（あみ）さんら同学年の女子6人と連れ立って収穫祭へ。会場に着くなり、「何かできることありますか」と言い、おにぎり班スタッフに加わった。

「おこげが混ざったおにぎりの方が、先に売れたのがおもしろかった。ふだんと違ったことが経験できた」

愛海さんの話では、前日までに「お客やるだけじゃつまらない。絶対、お手伝いしよう」と相談していたという。母親の久愛さんらは「自力でやらせて見よう」と、同行しなかった。

久愛さん「探偵団に参加し、いろいろな大人に接するせいか、物おじしなくなりました」



=15.10.18



そろって田植えが緑地デビュー

風、愛海さんとも、去年の田植えに参加したのが、緑地での初の活動体験だった。親たちが市民の会のホームページなどで、このイベントを知った。風さんはもともと、泥んこ遊びが好きだった。風さんは「初めは気持ち悪かったけど、すぐ慣れた」と言う。

その後、都合に応じてカカシ作り、稲刈り、ドングリ拾い、芋掘りなどに参加してきた。

4歳だった4年前から参加している高橋優太くんは、繁華街近くに住んでいた。母親の巖代（みねよ）さんは「この子に自然体験を」と考え、ホームページで予告を見た田植えに参加した。

優太くんは学校で生き物係を志願、育てている野菜の生長ぶりを毎日、担任に報告している。

15年度の催し

- | | |
|--------|-------------|
| 4月26日 | サトイモの植え付け |
| 5月16日 | 植樹祭 |
| 6月20日 | ホテルを見る会 |
| 7月10日 | 水辺の生き物観察 |
| 8月9日 | チョウの観察会 |
| 23日 | 染色教室 |
| 9月13日 | かかし作り |
| 10月25日 | イモ掘り |
| 11月21日 | 収穫祭 |
| 12月13日 | X'mas リース作り |
| 1月31日 | 麦踏み、落ち葉集め |
| 3月27日 | ハイキング |

自主保育グループと半ば一体に

「自主保育」というグループがある。子どもを幼稚園や保育園に通わせず、親たちが交代で見守る。広町緑地で毎日のように、子どもたちを遊ばせているグループは「でんでんむし」と名乗っている。



「探偵団」は主に小学生が対象だが、「でんでんむし」の未就学児たちも、毎月の催しに参加している。緑地内で遊び慣れているので、野育ちのようなたくましさがある。

12月17日、6歳同士の島津美海（みみ）さんと後藤響くんは、ヤマビワの木の見上げる高さまで、ひと息に登った。年下の子との遊びにも慣れている。



半面、美海さんは昨年10月の稲刈り祭に参加したが、「(刈った稲を運搬する)ソリ

に乗って遊んでいた」と言う。収穫祭のスタッフを務めるには幼いようだが、10月25日のサツマイモ、サトイモ掘りでは、もっと年少の子らも活躍した。

《注・かまくら緑の探偵団》 幼児から中学生までを対象に、自然を身近に体験してもらう

趣旨で、市民の会が2007年から運営を引き受けた。当時のメンバーは37人だったが、別表の催しのたび、約140通の案内状を出している。登録時に市民の会に入会している。



神奈川県内にある6団体で構成する「緑の少年団」に加盟。県みどりトラスト財団の財政支援を受ける。13年10月、公益社団法人・国土緑化推進機構の「緑の少年団育成成功労賞」を受賞した。

市民の会の継続性に重要

市民の会は指定管理・共同事業体の責任を果たすため、会員増や世代交代に迫られている。その市民の会にとり、探偵団は重要性を増している。

広町からの風

（「広町の森」で検索）

鎌倉広町の森市民の会ホームページ <http://www.kamakurahiromachi.org>

★入会申し込み＝常任理事の向田（090-9963-2353）へ。

個人の年会費は、正会員3,000円、普通会员1,000円。

★会費納入＝郵便振替（口座番号00290-2-37507、

口座名「広町の森市民の会」）で。